



# 太陽の元気プロジェクト2019年度の取組みについて

## 1. 太陽の元気プロジェクトとSDGs

- SDGs (Sustainable Development Goals) は2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年間の15年間で達成するために策定された17のグローバル目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」です。
- 当社では2016年より、「従業員」「お客様」「社会」のすべてを元気にする取組み、「太陽の元気プロジェクト」をスタートし、「健康寿命の延伸」すなわち「元気、長生き」をサポートすることで、SDGsの理念を業務の中に取り入れ、持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進しています。

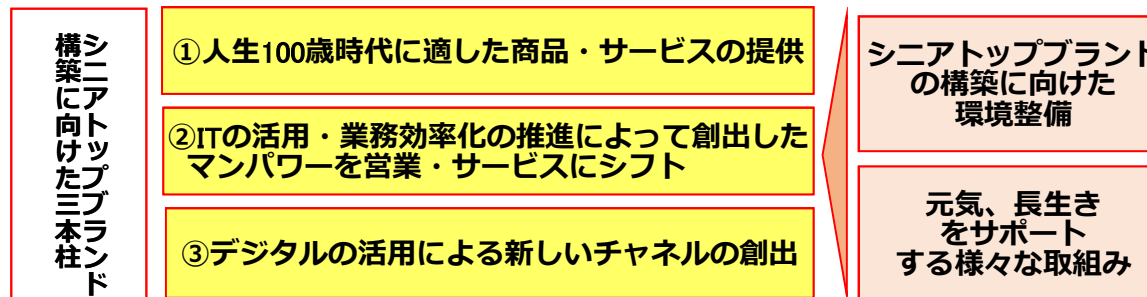
## 2. 太陽の元気プロジェクトの主な取組み例 (前中計2016年度～2018年度)

「従業員」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最長70歳まで働ける雇用制度の導入</li> <li>・クアオルト健康ウォーキングを活用した従業員の健康づくり</li> <li>・社内完全禁煙の達成</li> </ul>
「お客様」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり認知症予防保険をはじめとした100歳時代商品の提供</li> <li>・認知症予防サービスの案内</li> <li>・お客様対応力の向上 (認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイト)</li> </ul>
「社会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症セミナーへの協賛</li> <li>・日本医師会 赤ひげ大賞への協賛</li> <li>・太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワードの実施</li> <li>・認知症に関する研究機関等との共同研究</li> </ul>











## 3. 現中期経営計画における取組み (2019年度～)

100歳時代を先取りした最優の商品・サービスをご家庭にお届けすることにより、より多くのお客様の安心で豊かな暮らしを支える保険会社となる








#### 4. 具体的取組み シニアトップブランド構築に向けた環境の整備 ～従業員を元気に～

- 「人生100歳時代に適した商品・サービスの提供」「ITの活用・業務効率化の推進によって創出したマンパワーをサービスへシフト」「デジタルの活用による新しいチャネルの創設」を実現するための下支えとなる以下の各種人事施策を実施し、今まで以上に高い意欲で元気に能力や成果を発揮できる環境を整備しました。

項目	取組み内容	成果
健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クアオルトを活用した従業員の健康づくり →疾病予防や健康増進に効果のある「クアオルト健康ウォーキング」を推進。</li> <li>○e-ラーニングを活用した従業員の健康意識の向上 →従業員の健康増進と理解を深めるため、「健康増進セミナー」を定期的に実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●クアオルト体験バスツアーを実施</li> <li>●クアオルト健康プログラムを実施</li> <li>●女性疾病を中心にe-ラーニングを5回実施 →「予防・意識向上」から「重症化防止」まで各ステージごとに健康増進施策を実施。</li> </ul> 
両立支援制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男性育休の取得推進 →より一層育児に参加しやすい環境を整備するため、1週間以上の取得を推進。</li> <li>○各種休暇制度の充実 →より一層仕事と生活の両立を図るため、通院休暇、特別休暇の適用範囲を拡大。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●男性育休の取得 →取得率：100%（5年連続） →平均取得日数：5.3日（前年比+2.7日） →2020年度は1カ月取得を推進。</li> <li>●通院休暇・積立傷病休暇 →「不妊治療」「がん治療」を対象に追加。</li> </ul>   
働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークライフバランスの充実 →総労働時間の縮減と有給休暇の計画的な取得により、スマートワークを実現。</li> <li>○女性の活躍推進 →女性の健康課題に関するサポート体制を充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●月間平均総労働時間 →155.3時間（前年比▲3.7時間）</li> <li>●月間平均時間外労働時間 →3.7時間（前年比▲2.2時間）</li> <li>●有給休暇平均取得日数 →17.3日（前年比+0.2日）</li> <li>●女性専用の健康相談窓口の設置</li> </ul>   
人事制度の改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理職ポストの適正運用 →65歳定年制度を確実に運用するため、年齢に関係なく能力の高い者を管理職に登用。</li> <li>○初任給の引き上げ →優秀な人材を確保・育成するため、初任給を業界最高水準（※1）の25万円に引き上げ。 <small>（※1）法定外（時間外）労働の定額支給を除いた金額としては、国内主要漢字生命保険会社9社において業界最高水準となります（2020年2月25日時点において当社調べ）。</small></li> <li>○成果反映の大きい処遇制度の導入 →新たな支社業務体制への貢献や営業・サービスの成果がより反映しやすい「成果給」を一般職に導入。 →給与バランスの変更。</li> <li>○固定部分（資格給）の縮小と変動部分（成果給・職位手当）の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●管理職登用 →若手管理職（入社10年以内）：35名（2020年7月1日現在） →シニア管理職（60歳以上）：8名（2020年7月1日現在）</li> <li>●就職人気企業ランキング（楽天みん就） →総合ランキング第60位（生命保険会社トップ） →志望理由別ランキング ・若いうちから活躍できる会社：第1位 ・教育研修に熱心な会社：第3位 等</li> </ul> 





4. 具体的取組み 【3本柱】①人生100歳時代に適した商品・サービスの提供 ～お客様を元気に～

・認知症予防をはじめ、元気に長生きすることをサポートする商品・サービスをお客様にご提供しました。

項目	取組み内容	成果
<p><b>100歳時代に備えた医療保障の充実</b></p>	<p>○業界最高水準（※2）の入院一時金保険の提供（2019年11月～）            → 日帰り入院でも業界最高水準となる最高40万円を保障（※2）。            → 「働けなくなったときの保険」と組み合わせることで、短期から長期までの入院を保障。  <small>（※2）入院一時金保険と女性入院一時金保険（または生活習慣病入院一時金保険）をそれぞれ入院一時金額20万円で同時に付加した場合（主契約による入院時の一時金保障について、2019年9月現在 太陽生命調べ）。</small></p> <p>○先進医療保険の発売（2019年11月～）            → 先進医療保険を発売することで、特定疾病・疾病障害保険とあわせて、がん保障の充実を図った。</p>	<p>●入院一時金保険の販売件数            →39,495件（2019年11月～2020年3月）            （参考）前年同期比：118%</p> <p>●先進医療保険の販売件数            →39,863件（2019年11月～2020年3月）</p> 
<p><b>認知症関連保障の提供</b></p>	<p>○認知症関連保障の提供（2016年3月～）            →社会的課題である認知症関連の保障をお客様に提供。</p> <p>○ひまわり認知症予防保険の予防給付金の支払いを開始（2019年10月～）            →お客様に「予防給付金」を活用した認知症予防サービスの案内を実施。</p>	<p>●認知症関連商品の拡販            →認知症関連商品（※3）の累計販売件数が56万件を突破（2020年3月末時点）。  <small>（※3）ひまわり認知症治療保険、認知症治療保険、ひまわり認知症予防保険、通増認知症治療終身保険の合計販売件数。</small></p> <p>●ひまわり認知症予防保険が2019年度グッドデザイン賞を受賞</p> 
<p><b>100歳時代に適した新サービスの提供</b></p>	<p>○認知症予防検査キャッシュバックサービスの開始（2019年10月～）</p> <p>○三大疾病等の共同研究にむけた味の素・SRL・セルメスタとの業務提携等に関する覚書の締結（2019年9月）            →三大疾病のリスク検査の結果、疾病データ、生活習慣データ等のビッグデータ解析を推進し、予防視点の新たな検査と保険商品の一体開発など、予防に資する新たなソリューションサービスの開発にむけた共同研究を実施することで合意。</p>	<p>●太陽生命少子高齢社会研究所の設立（2020年4月）            →「少子化対策」・「健康寿命の延伸」という社会的課題への取組みを一層強化すべく、健康・医療等に関する調査・研究を専門的に実施する子会社を設立。</p> 
<p><b>シニアサービスの充実</b></p>	<p>○年1回のお客様訪問サービスを実施</p> <p>○お客様訪問時にあんしんガイドの提供（給付金等のガイドブック）</p> <p>○ヤマト運輸を活用したシニア訪問サービスの実施</p> <p>○キャラバン・メイト養成研修、認知症サポーター養成講座の実施</p>	<p>●訪問サービスの充実            →2019年度シニア訪問件数 449,123名（※4）  <small>（※4）72歳以上のシニアのお客様全員を対象</small></p> <p>●キャラバン・メイトによる研修の実施            →キャラバン・メイト：201名（2020年3月末）            →認知症サポーター：9,960名（2020年3月末）</p>  





4. 具体的取組み 【3本柱】②ITの活用・業務効率化の進化によって創出したマンパワーを営業・サービスにシフト ～お客様を元気に～

- ・最先端のITを活用した様々な業務改革および各種手続きのペーパーレス化によるお客様の利便性向上と事務の機械化・自動化によるスマートワークの推進により、約1000名分の事務を削減しました。
- ・業務効率化により創出したマンパワーによって、かけつけ隊サービスに代表されるサービスを充実しました。

項目	取組み内容	成果
<p><b>かけつけ隊 10万件突破</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門知識を有する内務員のお支払い手続き訪問サービスの実施 →給付支払いのためのきめ細やかなサポートを行い、給付金支払い日数の大幅な短縮を実現し、シニアのお客様をはじめとする多くのお客様からの支持を獲得。</li> <li>○次世代携帯端末「太陽生命コンシェルジュ」に導入による進化 →カメラ機能やTV電話機能の活用により営業職員も専門知識を有する内務員と同等にお支払いサービスの提供ができるよう進化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● かけつけ隊実施件数 (※5) →2019年度：29,934件（前年比115.2%） <small>(※5) 2016年4月のサービス導入以降：101,603件（2020年3月末まで）。</small></li> <li>● 営業職員実施件数 (※6) →2019年度：75,325件（前年比108.0%） <small>(※6) 2018年8月のコンシェルジュ導入以降：122,867件（2020年3月末まで）。</small></li> </ul>  
<p><b>インフォーマーシャル 年間5,000件超</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受電数・支社連携数の向上 →CM改定やきめ細やかな番組選定、および、コミュニケーター育成により、受電数・支社連携数の拡大を図った。</li> <li>○ライフカウンセラーの販売力向上 →販売マニュアルや成約事例をもとにしたWeb研修等により、ライフカウンセラーの販売力の底上げを図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2019年度成約数 →5,183件（前年比 160.4%）</li> </ul>  










#### 4. 具体的取組み 【3本柱】③デジタルの活用による新しいチャネルの創設 ～お客様を元気に～

- ・「スマ保険」の創設により既存チャネルでは接点を持てなかった新たなお客様へのサービス提供を実現しました。
- ・シニアのインターネット利用率の伸展を踏まえ、デジタルを活用したお客様との接点を増加しました。

項目	取組み内容	成果
<p style="text-align: center;"><b>スマ保険の創設</b></p>	<p>○新たな販売チャネルの創設（2019年10月～） →お客様の好きな時間と場所のできる保険の見積りや申込みと、当社が培ってきた「人」による丁寧なサービスを融合した新たなコンセプトのインターネット完結型保険の提供を開始。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●月間約50万人のお客様が利用 →サービス開始当初から来客者数は毎月増加しており、直近では月間約50万人の顧客がHPを閲覧し、保険の見積りや申込みを行っている（2020年6月時点）。</li> <li>●「読者が選ぶネーミング大賞」受賞 →「スマ保険」の名称について、日刊工業新聞社の「読者が選ぶネーミング大賞」生活部門1位に選出。</li> </ul> 
<p style="text-align: center;"><b>給付手続きの完全ペーパーレス化</b></p>	<p>○請求手続きのペーパーレス化の促進 →介護請求・指定代理請求人による請求について「コンシェルジュ」での手続きを実現。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●給付金請求の完全ペーパーレス化の実現 →給付金の請求手続きについては完全ペーパーレス化を実現。 →介護の請求件数：約1,000件/月（2019年度実績）</li> </ul> 
<p style="text-align: center;"><b>マイページを活用したサービス</b></p>	<p>○ご家族登録制度のマイページ受付開始 →マイページによる家族登録状況の確認や新規登録・変更手続きを実現。</p> <p>○ひまわり通信の電子化 →電子交付機能にひまわり通信を追加し、マイページでの閲覧・ダウンロードを実現。</p> <p>○給付金請求手続きの開始 →給付金などの請求手続きを可能とし、「ネット完結」「かけつけ隊による訪問手続き」「郵送手続き」から選択できるサービスを開始。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2019年7月よりサービス開始 →利用実績1,869件（2020年3月末迄） ＜利用実績の内訳＞ ・新規登録 790件 ・変更1,079件</li> <li>●2019年10月よりサービス開始</li> <li>●ネット完結型サービスの提供（2020年3月～） →簡易取扱でのお支払いをネット完結にて実施。 →簡易取扱の白内障・大腸ポリープは、お客様の申し出（受付完了）から、最短10分での迅速なお支払いを実現。</li> </ul>  

#### 4. 具体的取組み 元気、長生きをサポートする様々な取組み① ～社会を元気に～

・お客様の元気・長生きをサポートする様々な取り組みを実施しました。

項目	取組み内容	成果
<b>クアオルト 健康ウォーキング アワード</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クアオルトウォーキングアワードの実施（2016年度～）               <ul style="list-style-type: none"> <li>→地域・社会貢献として、クアオルトウォーキングを活用し、健康寿命の延伸、交流人口の増大を目指す地方自治体の支援を目的として実施。</li> <li>→優秀な自治体3自治体を表彰し、クアの道の整備を実施。</li> <li>→2019年年度受賞自治体：岐阜県関市、愛知県岡崎市、滋賀県高島市</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●岐阜県岐阜市（2018受賞）との「健康づくりに関する協定の締結」（2020年2月）</li> <li>●林野庁主催のフォレストスタイルネットワークへの参画（フォーラムにて当社の取組みを発表（2020年2月））</li> </ul> 
<b>日本医師会 赤ひげ大賞 への協賛</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師の功績を顕彰する事業の支援（2017年度～）               <ul style="list-style-type: none"> <li>→「地域のかかりつけ医として住民の疾病予防や健康の保持増進に努めている医師」、「離島や過疎地域での活動等、地域の現場医療に貢献した医師」を表彰する事業を支援することで、社会の元気に貢献。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●支社長の年2回の都道府県医師会への挨拶訪問により、赤ひげ大賞候補者の推薦状況は2018年20名から2019年23名と増加</li> <li>●日本医師会作成の「救急カード」に協賛し、救急医療に関する啓蒙活動を実施</li> <li>●本社にて救命講習会を実施（2019年9月9日）</li> </ul> 
<b>認知症セミナー への協賛</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般向けセミナー（2016年度～）               <ul style="list-style-type: none"> <li>→全国9会場で認知症セミナーに協賛し、当社商品やサービスの情報提供を実施。</li> <li>→セミナー内で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを認定。</li> </ul> </li> <li>○医師向けセミナー               <ul style="list-style-type: none"> <li>→日本臨床内科医会会員を対象とした認知症専門医の単位となるセミナーに協賛。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加者累計約12,623名に対して当社商品やサービスの情報提供を実施</li> <li>●認知症サポーターを47名認定し、社会の元気に貢献</li> </ul>  
<b>スポーツ協賛 女性応援 社会貢献</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツを通じた女性応援、社会貢献、青少年育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ラグビー女子日本代表への協賛（2013年度～）</li> <li>→アイスホッケー女子日本代表への協賛（2013年度～）</li> <li>→太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ（女子7人制ラグビー大会）を年4回開催（2019年は5月、6月で実施）（2014年度～）</li> <li>→太陽生命カップ全国中学生ラグビーフットボール大会（毎年9月実施）（2011年度～）</li> <li>→全国U18セブンズラグビーフットボール大会（毎年10月実施）（2013年度～）</li> <li>→太陽生命スキルアップスクール（アイスホッケー教室）（2019年は10月開催）（2014年度～）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラグビー・アイスホッケーを中心に普及育成事業、アスリートの協賛を実施することにより、女子・子供のラグビー（またはアイスホッケー）＝太陽生命というクリーンなイメージの醸成を目指している</li> </ul>    
<b>SDGs （持続可能な開発目標） への貢献</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SDGsへ貢献する取組みの推進と周知               <ul style="list-style-type: none"> <li>→T &amp; D保険グループ各社と連携し、当社のSDGsに対する取組みを記載した「T &amp; D保険グループサステナビリティレポート2019」を作成。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サステナビリティレポートの発行等を通じて、当社のSDGsに対する活動内容を広くステークホルダーに周知</li> <li>●環境に優しい商品であるグリーン適合商品の事務用品等への割合が、目標80%に対して、96.7%を達成（前年比+2.1ポイント）</li> </ul> 










#### 4. 具体的取組み 元気、長生きをサポートする様々な取組み② ～社会を元気に～

・お客様の元気・長生きをサポートする様々な取組みを実施しました。

項目	取組み内容	成果
<p><b>持続可能な社会の実現に向けた資産運用の取組</b></p>	<p>○持続可能な社会の実現に貢献するため、責任投資原則（PRI）、日本版スチュワードシップ・コードにもとづき、資産運用において以下の取組みを実施</p> <p>→ESGをテーマとした投融資の実施グリーンボンド、ソーシャルボンド等へのESG投融資を通じて、持続可能な社会の形成・発展に貢献。</p> <p>→投資先企業への働きかけ投資先企業の持続的成長を促すため、議決権行使を含む投資先との対話を実施。</p>	<p>●ESGをテーマとした投融資の実施 →累積取組額：約2,000億円 →少額でも社内の投融資基準を満たす案件を丁寧に積上げることで収益性を維持。</p> <p>●投資先企業への働きかけ →2019年度は議決権行使結果の四半期開示および反対理由の開示を開始することで議決権行使の透明性および対話の有効性を高めた。</p> 
<p><b>良質な高齢者住宅の建設</b></p>	<p>○介護事業者と連携し高齢者住宅を建設・提供</p> <p>→保有不動産の収益性向上を目指した有効活用の観点から、当社が質の高い高齢者住宅を建設し、サービス面で実績のある介護事業者へ長期一括賃貸することで、良質な高齢者住宅を提供していく。</p>	<p>●当社社宅の跡地を活用したベネッセスタイルケアとの高齢者住宅「浦和成匠邸」の営業を開始（2019年9月オープン）</p> <p>●千代田区一番町でベネッセスタイルケアとの高齢者住宅の建設に着手（2019年度着工）</p> 
<p><b>地域活性化に資する再開発事業への参画</b></p>	<p>○街を「元気」にする（地域活性化に資する）不動産再開発</p> <p>→プロジェクトへ参画。当社が保有する不動産の周辺一体再開発や新規権利取得により、地域活性化を目指した街づくりに参画していく。</p>	<p>●四ツ谷再開発事業（コモレ四ツ谷）が2020年1月竣工</p> <p>●渋谷支社跡地の周辺一帯再開発につき事業組合にて最終案の合意</p> <p>●名古屋のリニア新駅関連再開発を前提とした名駅ビルの土地収用代替地取得を決定</p> 
<p><b>太陽生命の森林</b></p>	<p>○滋賀県・栃木県に「太陽生命の森林」を設置</p> <p>→従業員ボランティアが自らの手で森林整備活動を実施。（間伐作業・林道整備・アカマツ林再生プロジェクト）</p> <p>→ダウン症協会の方々を招いての「森林教室」の開催。</p> <p>→地元小学校と協働で行う「どんぐりプロジェクト」を実施。（どんぐりから苗木を育て卒業時に植樹）</p>	<p>●CO<sub>2</sub>の吸収</p> <p>→滋賀県高島市「太陽生命くつきの森林」 CO<sub>2</sub>吸収量81 t/年間</p> <p>→栃木県那須塩原市「太陽生命の森林」 CO<sub>2</sub>吸収量17 t/年間</p> <p>●「どんぐりプロジェクト」の取組みが全国森林レクリエーション協会主催のコンクールにおいて「奨励賞」を受賞</p> 

#### 4. 具体的取組み 元気、長生きをサポートする様々な取組み③ ～社会を元気に～

・お客様の元気・長生きをサポートする様々な取組みを実施しました。

項目	取組み内容	成果
<b>全国一斉 クリーン キャンペーン</b>	○本社・支社での一斉清掃活動 →1982年に本社周辺の清掃活動をスタートさせ、2004年からは「全国一斉クリーンキャンペーン」として本社をはじめ全国の支社周辺地域で実施。	●2019年度は7月6日に開催。全国で約7000名が参加し、地域の清掃活動を行うことで環境美化に貢献。 
<b>物資の寄贈</b>	○発展途上国の子どもたちへ物資を寄贈 →公益財団法人ジョイセフの取り組みに賛同し、2006年から全国の従業員にランドセル寄贈の呼びかけを実施。 →2019年度新たな取り組みとしてNPO法人AIMECと協力し、楽器を届ける活動を実施。	● 全国の従業員に提供を募り、寄贈 <2019年度実績> ・ランドセル143個を寄贈 ・鍵盤ハーモニカ等の楽器を286個寄贈   
<b>日本ダウン症協会への支援</b>	○日本ダウン症協会への支援の実施 ○栃木県那須塩原市にある「太陽生命の森林」にて、ダウン症協会の方々を招き「森林教室」を開催。	●第2回日本ダウン症会議（2019年11月16・17日）および世界ダウン症の日（2020年2月24日）に開催されたキックオフイベントへの支援を実施 ●「森林教室」を開催し、約50名が参加（2019年5月25日） 
<b>石巻マルシェ</b>	○震災地域である石巻の復興支援 →本社の公開空地を利用して「石巻元気復興センター」の方々をお招きし、震災地域である石巻の特産品を販売する「石巻マルシェ」を開催。	●2019年度は10月8日に開催 →当日は多くの社員や日本橋にお勤めの方などが石巻の特産品を買い求め、地元の味に笑顔があふれ大いににぎわった。 
<b>献血の活動</b>	○献血量が低下する8月および1月に献血活動を実施（2019年度）。	●2019年度は8月20・21日、1月29・30日に実施 ●延べ協力者数は380名  
<b>太陽生命 グッドウィル・ サークル友の会</b>	○地域密着型の社会貢献活動の実施 →2005年12月に役職員による社会貢献活動を支援することを目的に「太陽生命グッドウィル・サークル友の会」を設立。 →毎月の報酬・給与の手取り金額の100円未満の端数を会費として、森林保全活動や地域貢献活動を実施。	●書き損じハガキを回収。2019年度は601枚回収し、31542円分を寄付 ●「太陽生命の森林」における森林整備活動を実施（2019年度は4月・7月・11月に実施） 
<b>ライトダウン の実施</b>	○環境省が推進する「CO2削減・ライトダウンキャンペーン」の趣旨に賛同し、グループ合同でのライトダウンを実施。 ○CO2の削減のみならず、現在推進しているスマートワークの取組みの一環として18時までに業務を終了し、消灯のうえ全員が退社できるよう推進。	●2019年度は7月12日と12月20日の2回、グループ合同で実施 